

令和6年度 知的障害関係施設中堅職員研修会開催要綱

1. 研修の主旨

対話とは、異なる立場や価値観を持つ他者と、互いに理解を深め合うコミュニケーションです。特に、私たちが働く障害福祉の分野は、「正解」がない中で、利用者を中心におき、対話を重ねることで、思いに寄り添った支援が実現できると考えています。

また、対話力は、人と協働する上で必要不可欠ですが、対話のポイントを学ぶことや、日常の中で自身の対話の特徴を振り返る機会は少ないのではないのでしょうか。

今回の研修では、「きく力」「伝える力」のポイントをお伝えし、ディスカッションやロープレ等の実践練習を通じて、相手の真の思いを引き出したり、自分の真意を相手に上手に伝えるなど、現場で使える対話力を一緒に身につけていきます。

また、権利の主体者である福祉サービスの利用者の人権を守り、絶えず質の高いサービスの提供に努力するための意思決定支援についても学びます。

多くの施設からの「中堅職員」の皆様のご参加をお待ちしております

2. 主催 鹿児島県知的障害者福祉協会

3. 共催 さくらじま知的障害児者生活サポート協会

4. 期日 令和6年10月1日（火）

5. 会場 鹿児島サンロイヤルホテル 1階 エトワールの間
鹿児島市与次郎1丁目8-10 TEL099-253-2020

6. 参加者 鹿児島県内の知的障害関係施設に勤務する中堅職員
(目安として、自施設での経験が3年以上の職員)

7. 定員 約100名

8. 研修プログラム【研修プログラムは都合により変更することがありますのでご了承ください】

8:30～9:20 受付

9:20～9:30 開会あいさつ 鹿児島県知的障害者福祉協会会長 水流純大

9:30～12:00 <研修Ⅰ>「対人援助のスキルアップ～対話力の向上を目指して～」
(講義&グループワーク)

(途中休憩を含む) 講師：(医) 常清会 相談支援事業所ドライブ

主任相談支援専門員・精神保健福祉士・公認心理士 白澤 珠理氏

12:00～13:00 昼食・休憩

13:00～16:00 <研修Ⅱ>「現場に活かせる意思決定支援」

(途中休憩を含む) 講師：武庫川女子大学 心理・社会福祉学部

社会福祉学科博士(社会福祉学)

地域福祉研究室 教授 松端 克文氏

9. 参加費について(お一人様)

- | | |
|------------------|--------|
| ・福祉協会会員施設 | 3,000円 |
| ・さくらじまサポート協会加入施設 | 4,000円 |
| ・会員外施設・事業所 | 5,000円 |
| ・昼食(お弁当)希望者のみ | 800円 |

1 1. 参加申込み方法について

別紙様式に必要な事項を記入のうえ、メールもしくは FAX にてお申込み下さい。
送信後、必ず FAX 到達の確認をお願いいたします。

1 2. 費用の支払いについて

下記の期日までに下記口座へお振込み下さい。

鹿児島信用金庫 郡元支店 普通口座 5609751

鹿児島県知的障害者福祉協会 会長 水流 純大 (つる すみひろ)

鹿児島市鴨池新町 1-7 TEL 099-256-6796

※「振込人」には

施設名

 のみご記入下さい。

・記入例・・・障害者支援施設〇〇〇 → 振込人 〇〇〇

障害者支援センター△△△ → 振込人 △△△

・参加申込・お支払期限 : 令和6年9月24日(火)

※この件についてのお問合せ先

鹿児島県知的障害者福祉協会事務局・朝田 TEL099-256-6796